

「令和5年度超音波検査実技研修会」を開催しました

令和5年6月22日
(独)家畜改良センター
熊本牧場

牛の人工授精等における適期授精と繁殖成績向上のため、一般社団法人日本家畜人工授精師協会と家畜改良センター熊本牧場の共催による「令和5年度超音波検査実技研修会」を開催し、家畜人工授精師のための超音波検査装置を用いた生殖器検査における講義と実技実習を行いました。

参加者は、超音波検査装置を初めて使用する方が多く、講師に対して超音波検査装置の使用方法や人工授精における授精適期の判別方法等について質問し、活発な意見交換が行われました。また実技実習では、発情期、黄体期、妊娠初期の牛に対し超音波検査装置を使用し、卵巣や子宮の状態を確認していました。

参加者からは、「少人数であったため実技を多く学べた」「今後の実践に活かしたい」など、高い評価をいただきました。

【「令和5年度超音波検査実技研修会」

(令和5年度新牛繁殖技術普及強化事業に係る広域技術者研修)】

- ・日時 令和5年6月15日(木) 10:00～16:00
- ・場所 (独)家畜改良センター熊本牧場
- ・共催 (一社)日本家畜人工授精師協会
- ・講師 国立大学法人鳥取大学農学部 西村 亮 准教授
- ・参加者 5名(熊本県5名)



写真1：講義



写真2：実技実習